

DEAD POETS SOCIETY

Screenplay of the motion picture from Touchstone Pictures.
Produced by Steven Haft, Paul Junger Witt, Tony Thomas.
Based on the motion picture written by Tom Schulman.
Directed by Peter Weir.

映画総合教材『いまを生きる』

Osako Tanaka
Hiroko Honda
Atsuko Yamamoto
Benedict Rowlett
Kotaro Nakagaki

TSURUMI SHOTEN

DEAD POETS SOCIETY

Copyright © 1989 by Touchstone Pictures.

Screenplay of the motion picture from Touchstone Pictures.

Produced by Steven Haft, Paul Junger Witt, Tony Thomas.

Based on the motion picture written by Tom Schulman.

Directed by Peter Weir.

This edition published by arrangement with Hyperion through
The English Agebcy (Japan) Ltd.

This book is published by OTOWASHOBO TSURUMISHOTEN Co., Ltd.

No part of this publication may be used or reproduced without
the written permission of the publisher.

All rights reserved.

はしがき

ピーター・ウィアー監督の映画『いまを生きる』（原題 *Dead Poets Society*）（1989年）は、伝統と規律を重んじる全寮制の名門校ウェルトン学院を舞台にした生徒たちの成長物語です。生徒たちは新任教師ジョン・キーティングが行う情熱的で型破りな授業に初めは驚きと戸惑いの表情を見せていますが、次第に目を開かされ、先入観にとらわれず自分の頭で考え、自分自身の声を見つけ、「いま」というかけがえのない時間を大事に過ごさなければならないと考えるようになります。キーティングが生徒たちに語りかけるラテン語“*Carpe Diem*”すなわち“*Seize the Day.*”という魔法のような言葉が、生徒たちに「生きる」ことの意味を問いかけていきます。

この教科書は、若くて感性豊かではあるけれど、いまだ未熟な生徒たちが自己発見に乗り出し、苦い挫折を経験しながら困難に立ち向かう姿を通して、全編にきらめく至宝の言葉や心に染み入る詩を味わってほしいという主旨で誕生しました。アカデミー賞®最優秀オリジナル脚本賞に輝くトム・シュルマンのスク립トは言葉のもつ深みを改めて教えてくれます。

本書は、2部構成になっています。映画のスク립トに重点を置き、能動的な演習ができるように考案された総合英語の部と、作品の理解をさらに補強し深めるための、編著者の一人である中垣恒太郎によるコラム「映画『いまを生きる』の背景」の部です。各ユニットを通して様々な *discussion topics* が提供されていますので、適宜、コラムを参照しながらテーマを決めて発表したり、*writing* に活用したりしてもいいでしょう。また、著作権者との契約上、掲載したスク립トの試訳が教科書本体に併録されていますので、最終的な内容理解の確認に役立ててください。学習者の皆さんが、映画の中の各シーンを思い浮かべながら楽しく英語を学び、さらなる英語力向上をめざされることを編著者一同、願ってやみません。

最後になりましたが、この教科書の作成にあたり、本企画のご提案とご支援をいただいた音羽書房鶴見書店の山口隆史社長と、当初より伴走者として支えていただいた荒川昌史氏に、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

2013年8月

編著者

CAST

John Keating	ROBIN WILLIAMS
Neil Perry	ROBERT SEAN LEONARD
Todd Anderson	ETHAN HAWKE
Knox Overstreet	JOSH CHARLES
Charlie Dalton	GALE HANSEN
Richard Cameron	DYLAN KUSSMAN
Steven Meeks	ALLELON RUGGIERO
Gerard Pitts	JAMES WATERSTON
Mr. Nolan	NORMAN LLOYD
Mr. Perry	KURTWOOD SMITH
Mrs. Perry	CARLA BELVER
McAllister	LEON POWNALL
Dr. Hager	GEORGE MARTIN
Chemistry Teacher	JOE AUFIERY
Hopkins	MATT CAREY
Joe Danburry	KEVIN COONEY
Mrs. Danburry	JANE MOORE
Ginny Danburry	LARA FLYNN BOYLE
Chet Danburry	COLIN IRVING
Chris Noel	ALEXANDRA POWERS
Gloria	MELORA WALTERS
Tina	WELKER WHITE
Steve	STEVE MATHIOS
Bubba	ALAN POTTINGER
Directing Teacher	PAMELA BURRELL
Actor Fairy	ALLISON HEDGES
Titania	CHRISTINE D'ERCOLE
Mr. Anderson	JOHN CUNNINGHAM
Mrs. Anderson	DEBRA MOONEY

Table of Contents

はしがき	iii
本書の使い方	vii
映画『いまを生きる』の背景〈0〉「プレゼンテーション」の方法	viii
Unit 1 A New Semester 新学期	1
映画『いまを生きる』の背景〈1〉 ボーディング・スクール（寄宿制学校／セント・アンドリュース・スクール） の伝統	8
Unit 2 Seize the Day “その日をつかめ”	9
映画『いまを生きる』の背景〈2〉 Carpe Diem（「その日をつかめ」）の文学伝統	16
Unit 3 An Invitation to Poetry 詩へのいざない	17
映画『いまを生きる』の背景〈3〉 詩への誘い——ホイットマンの自由詩～定型詩の魅力	24
Unit 4 Free Thinkers 自由思想家	25
映画『いまを生きる』の背景〈4〉 ヘンリー・ソロー『ウォールデン——森の生活』の反骨精神	31
Unit 5 Dead Poets Society “死せる詩人の会” 復活	32
映画『いまを生きる』の背景〈5〉 ヴェーチェル・リンゼイの詩「コンゴ」——歌・アフリカの原始主義的想像力・ 植民地政策の歴史	39
Unit 6 Your Own Voice 自分自身の言葉	40
映画『いまを生きる』の背景〈6〉 アメリカにおける学生スポーツ	47
Unit 7 Poetry Class 詩作の授業	48
映画『いまを生きる』の背景〈7〉 ラジオ放送／ロカビリー音楽	55

Unit 8	Conformity vs. Individuality	順応性と自分らしさ	56
	映画『いまを生きる』の背景〈8〉		
	創作科／詩の創作授業と文化系クラブ		62
Unit 9	Time for Action	行動の時	63
	映画『いまを生きる』の背景〈9〉		
	1950年代アメリカの時代思潮		69
Unit 10	Father and Son	父と息子	70
	映画『いまを生きる』の背景〈10〉		
	アメリカ文化における「父と息子」		76
Unit 11	A Midsummer Night's Dream	“真夏の夜の夢”	77
	映画『いまを生きる』の背景〈11〉		
	『真夏の夜の夢』		83
Unit 12	The End of the Society	“死せる詩人の会” 終結	84
	映画『いまを生きる』の背景〈12〉		
	ティーン・フィルム（学園映画）の系譜		90
Unit 13	Betrayal	密告	91
	映画『いまを生きる』の背景〈13〉		
	プレップスクール／「ノーブレス・オブリージ」		97
<i>Epilogue:</i>			
Unit 14	Oh, Captain! My Captain!	“船長” への敬意	98
	映画『いまを生きる』の背景〈14〉		
	序曲「1812年」(1812 Overture)		102
	Featured Scenes—Read and Listen	試訳	103

本書の使い方

ユニット紹介

本書は 14 のユニットで構成されています。ビデオを見る前に、各ユニットの初めの和文を読んで内容を予測してみましょう。

Vocabulary

ユニットで取り上げた **Featured Scene(s)** の中で高校学習レベル以上、使用頻度の高いもの、またはシーンを理解する上でキーワードとなるような 10 語句 を厳選しました。A は、**Featured Scene(s)** に出る順番に並んだ 10 語句を、ランダムに提示された日本語訳と結びつける問題です。B は、A で提示された 10 語句のいずれかを使用して空欄を埋める問題です。語句の形を変える場合もあります。

First Viewing

ユニットの全シーンをビデオで見て、出来事の起こった順に番号を打つ問題です。英語がわからなくても映像を見ればわかるようになっています。

Featured Scene(s)—Read and Listen

ユニット内で特に重要と思われる **Featured Scene(s)** の script が載っています。Notes では、辞書を引いただけでは理解できないと思われる語彙を中心に提示しています。

Second Viewing

Featured Scene(s) の内容に関する問題です。True/False Questions, Multiple-choice Questions, Pair-work Questions の 3 種類があります。なお、Pair-work Questions では、Student B 用の質問文がユニットの最後のページに提示されており、パートナー同士が相手の質問事項を見ないで、質問文を聞いて声に出して答えるようになっています。

Grammar & Expressions

Featured Scene(s) の中の重要な文法項目や英語表現を使った英文の並び替え問題です。

Listen and Write

ユニット内の短い英文を聞いて書き取る問題です。気のきいた台詞や、音の連結、脱落、同化などで日本人には聞き取りにくい英文などを特に選んでいます。

Expansion

ユニットの内容に関連した **Discussion Topics** が提示されています。英語で難しければ日本語で、クラスメートと話し合ってみましょう。

映画『いまを生きる』の背景

この映画を理解する上で、知っておきたい事柄についての内容です。特に興味のあるものに関して、自分でさらに調べてみましょう。(Notes では、p. 2 以外で「背景」と省略)

なお、まとめの章と位置づけた 14 章では、上記のセクションの一部のみを取り扱っています。

「プレゼンテーション」の方法

『映画総合教材「いまを生きる」』は各章毎にストーリーを追いながら学習していくことに特徴がありますが、最終的な目標に「プレゼンテーション」を設定してはいかがでしょうか？ 学習が進んでいくにつれて、この映画を通して多くの話題について語ってみたいくなることでしょう。たとえば、「理想の先生について」、「私たちの知っている日本の学校生活との違い」、「好きな詩（演劇・小説）について」、「学校の役割とは？」、「男子校・女子高と共学の違い」、「進路について」、「寮生活について」など、まずはトピックを選んでみましょう。

プレゼンテーションを準備するにあたって、「アウトライン」を書いてみます。おおよそのトピックを決めたら、「ブレインストーミング」として思いつく限りのアイデアを紙に書き出してみましょう。そこから3つ程度、論点となるまとまりを作ることによって、「プレゼンテーション」の基本的な構造を準備することができます。このように「アウトライン」を事前に用意しながら「プレゼンテーション」の準備をすることは、ライティングにも応用できるはずです。

基本的な構成としては、

- ・「序論」(Introduction) —— 何について話すのか？ 質問を織り交ぜながら聴衆を引きつける導入を工夫してみましょう。さらに続けて、「論旨」(Statement of Main Idea) として「主張」を示します。
- ・「本論」(Body) —— 3つほどの観点から、「主張」を裏づけると効果的です。
- ・「結論」(Conclusion) —— 「主張」をまとめ直します。

たとえば、「男子校／女子高の利点について」をトピックとして選択するとしたら、

- ・「序論」 —— 「あなたは男子校／女子高の出身ですか？」質問から入ることで聴衆の関心を引きつける工夫を演出してみましょう (attention getter)。
- ・「論旨」 —— 「男女別学の利点（欠点）について論じる」ことを宣言します。
- ・「本論」 —— 「論旨」をサポートする点を3つほど挙げてみます。そのうち1つは想定される反論にあらかじめ答えることができていると説得力を増すでしょう。
- ・「結論」 —— これまでに論じてきたことをまとめ直します。
- ・「質疑応答」 —— 「質問はありますか？」(Do you have any questions?)

さらにお互いの「プレゼンテーション」に対して「良かったところ／改善したほうがよいところ」を指摘しあう (evaluation) ことで、さらにより良いプレゼンテーションに繋げていくことができるでしょう。原稿をただ読み上げるだけではなく、聴衆の反応を確かめながら話をする (eye contact) や、姿勢に注意して、身振りを交えるなどの「話し方」に注意を払うことでプレゼンテーションの印象は格段に良いものになるはずです。「パワーポイント」やハンドアウトなどの資料提示も効果的です。英語の能力のみならず、「プレゼンテーション」の準備・実践をすることで多くのことを学ぶことができるでしょう。

総合英語教材の総仕上げとして映画の内容を踏まえた上で、ぜひ「プレゼンテーション」を実践してみてください。

A New Semester

新学期

(DVD Chapters 2-3 00:00:00~00:11:17)

舞台は北米東部の豊かな自然の中に位置する名門全寮制私立学校です。成長期の少年たちが新学期に集い、共同生活が始まります。授業に課外活動、友人や親子関係、それに恋など、これから彼らに何が待っているのでしょうか。

Vocabulary

A. Match each word or phrase with its meaning in Japanese.

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. tradition (n.) | a. 献身 |
| 2. honor (n.) | b. 根本方針／原理、原則 |
| 3. discipline (n.) | c. 後任 |
| 4. excellence (n.) | d. 優秀 |
| 5. accomplishment (n.) | e. お世辞を言う |
| 6. dedication (n.) | f. 逆らう／異議を唱える |
| 7. principle (n.) | g. 規律 |
| 8. replacement (n.) | h. 伝統 |
| 9. flatter (v.) | i. 名誉 |
| 10. dispute (v.) | j. 達成 |

B. Complete each sentence using one of the words or phrases listed above. You may sometimes have to change the word form.

1. Her greatest _____ was to pass the entrance exam for one of the Ivy League colleges.
2. It was an _____ to represent my school at the speech contest.
3. Because the teacher was sick, the school needed to get a _____.
4. My father has a lot of _____ to his job.
5. _____, such as the tea ceremony and flower arrangement, are important to many Japanese people.

First Viewing

Watch the whole chapter and put the events in the correct order.

- _____ The school principal introduces the new English teacher, Mr. Keating.
 _____ The students begin their first classes of the new semester.
1 _____ Students playing bagpipes process into the school hall for the entrance ceremony.
 _____ Neil and his father argue.
 _____ The students move into their dormitory rooms.

Featured Scenes—Read and Listen

WELTON ACADEMY HALLWAY

[DVD 00:01:18~00:04:20]

MAN: All right boys, let's settle down. Banners up.

MR NOLAN: Ladies and gentlemen, boys, the light of knowledge.

MR NOLAN: One hundred years ago, in 1859, 41 boys sat in this room and were asked the same question that now greets you at the start of each semester. 5
 Gentlemen, what are the four pillars?

BOYS: Tradition, honor, discipline, excellence.

MR NOLAN: In her first year, Welton Academy graduated five students. Last year we graduated fifty-one. And more than seventy-five percent of those went on to the Ivy League. This, this kind of accomplishment is the result of fervent 10
 dedication to the principles taught here. This is why you parents have been sending us your sons. This is why we are the best preparatory school in the United States.

MR NOLAN: As you know, our beloved Mr. Portius of the English department retired last term. You will have the opportunity later to meet his replacement, 15

Notes

2 **Banners up.** = Hold the banners up. / 6 **pillar** 「柱」 道徳的理念の指針。 / 10 **Ivy League** 「アイヴィーリーグ」 北米東部の名門大学8校。 / 10 **fervent** 「熱烈な」 / 12 **preparatory school** 「大学進学予備校」(北米では) 大学進学希望の中高生のために高度な教育を行う私立学校。詳しくは [映画『いまを生きる』の背景] (以下 [背景]) の〈13〉(p. 97) を参照。

Mr. John Keating, himself an honors graduate of this school. And who, for the past several years, has been teaching at the highly regarded Chester School in London.

After the ceremony, Neil emerges from a building and sees Todd.

[DVD 00:05:30~00:05:40]

NEIL: Hey, I hear we're gonna be roommates. I'm Neil Perry.

20

TODD: I'm Todd Anderson.

NEIL: Why'd you leave Balincrest?

TODD: My brother went here.

NEIL: Oh, so you're that Anderson.

DORMITORY

[DVD 00:06:00~00:08:53] 25

CAMERON: Neil, study group tonight?

NEIL: Yeah, sure.

CAMERON: Business as usual, huh? Hey, I heard you got the new kid. Looks like a stiff!

CAMERON: Oops!

30

NEIL: Listen, don't mind Cameron. He's, uh, born with his foot in his mouth. You know what I mean?

CHARLIE: Rumor has it, you did summer school.

NEIL: Yep. Chemistry. My father thought I should get ahead. How was your summer, Slick?

35

CHARLIE: Keen. Meeks. Door. Closed.

MEEKS: Yes, sir.

NEIL: Gentlemen, what are the four pillars?

Notes

20 **gonna** = going to / 22 **why'd** = why did / **Balincrest** 「バリンクレスト校」トッドが転校前在籍していた私立学校。/ 27 **yeah** 「(口語) yes」/ 28 **business as usual** 「営業は平常通り」ここでは、「いつも通り」という意味。/ 29 **stiff** 「(俗語) 退屈な人」/ 30 **oops** 「おっと、しまった」へましたときに使う間投詞。/ 31 **be born with one's foot in one's mouth** 「生まれつき口が悪い」/ 33 **Rumor has it.** 「~といううわさだ」/ 34 **yep** (口語) = yes / 35 **slick** 「(米俗語) 如才ないやつ」/ 36 **keen** 「(口語) 素晴らしい」

BOYS: Travesty. Horror. Decadence. Excrement.

CHARLIE: Okay, study group. Meeks aced Latin. I didn't quite flunk English. So, if 40
you want, we've got our study group.

NEIL: Sure. Cameron asked me, too. Anyone mind including him?

CHARLIE: Hmm, what's his specialty, boot-licking?

NEIL: Um, he's your roommate.

CHARLIE: That's not my fault. 45

MEEKS: Uh, I'm sorry, my name is Steven Meeks.

NEIL: Oh, this is Todd Anderson.

MEEKS: Nice to meet you.

TODD: Nice to meet you.

CHARLIE: Charlie Dalton. 50

KNOX: Knox Overstreet.

NEIL: Todd's brother was Jeffrey Anderson.

CHARLIE: Oh yeah, sure. Valedictorian. National merit scholar.

MEEKS: Oh well, welcome to Hell-ton.

CHARLIE: It's every bit as tough as they say unless you're a genius like Meeks. 55

MEEKS: He flatters me. That's why I help him with Latin.

CHARLIE: And English, and Trig.

There is a knock at the door.

NEIL: It's open.

NEIL: Father, I thought you'd gone. 60

BOYS: Mr. Perry.

MR PERRY: Keep your seats fellas, keep your seats. Neil, I've just spoken to Mr.
Nolan. I think that you're taking too many extra curricular activities this
semester, and I've decided that you should drop the school annual.

Notes

39 **Travesty. Horror. Decadence. Excrement.** 「茶番、恐怖、退廃、排泄」 Tradition, honor, discipline, excellence. のごろ合わせ。／ 40 **ace** 「(俗語) 成績で最高の評点を取る」／ **flunk** 「(米口語) 落第する」／ 41 **we've got** = we have ／ 42 **Anyone mind including him?** = Does anyone mind including him? ／ 43 **boot-licking** 「(口語) おべっか使い」／ 44 **um** 「ふーん」ちゅうちょ、疑念などを表す。／ 53 **valedictorian** 「卒業生総代」／ **national merit scholar** 「全米屈指の秀才」／ 54 **Hell-ton** 「ヘルトン学院」hell (地獄) と Welton とをかけ、厳しい学校であることをほのめかしながら、一方で揶揄もしている。／ 55 **every bit** 「全く」／ 57 **trig** = trigonometry 「三角法」三角比に関する数学的理論およびそれによる解法。／ 62 **fella** (口語) = fellow 「男の子」

NEIL: But I'm the assistant editor this year. 65

MR PERRY: Well I'm sorry Neil.

NEIL: But Father, I can't. It wouldn't be fair.

MR PERRY: Well, would you excuse us for a moment?

Mr. Perry and Neil leave the room.

MR PERRY: Don't you ever dispute me in public. Do you understand? 70

NEIL: Father, I wasn't disputing.

MR PERRY: After you've finished medical school and you're on your own, then you can do as you damn well please. But until then, you do as I tell you. Is that clear?

NEIL: Yes sir. I'm sorry. 75

MR PERRY: You know how much this means to your mother, don't you?

NEIL: Yes sir. You know me, I'm always taking on too much.

MR PERRY: Well, that's my boy. Now listen, you need anything, you let us know, huh?

NEIL: Yes sir. 80

Notes

64 **school annual** 「学校年鑑」／72 **on one's own** 「独立して」／73 **damn** (男性語略式) = damned. 口調を強めるだけでそれ自体ほとんど意味を持たないが、形容詞・副詞を修飾して“とても”やののしりの言葉にも用いられる。／77 **take on** 「引き受ける」

Second Viewing

Watch the scene again and indicate whether the sentences below are true or false.

1. () Welton Academy started over 100 years ago with less than 50 students.
2. () Mr. Keating graduated from Chester School.
3. () Neil studied chemistry over the summer.
4. () Charlie helps Meeks with Latin.
5. () Neil's father is pleased that Neil is going to be assistant editor on the school annual.

Grammar & Expressions

Put the words in the parentheses into the right order to complete the sentence in English, according to the Japanese translation.

1. その映画は彼らが言うとおりに全く面白い。

The movie (they say / as / every bit / is / as exciting).

2. 雨が降らなければ、明日ビーチに行く予定です。

I'm going to the beach (raining / tomorrow / it / unless / is).

3. 友人が転居します。そういうわけで私はこの箱を持つ手伝いをしています。

My friend is moving. (why / with / helping him / that's / I am) these boxes.

4. ここであなたは何をしていますか、東京に行ったとばかり思っていましたよ。

What are you doing here? I (you'd / Tokyo / thought / to / gone).

5. 私にそんな口のきき方は二度としないでください。

(ever / like / don't / speak to me / you) that again.

Listen and Write

1. -----

2. -----

3. -----

A graphic consisting of a downward-pointing triangle with a gradient from light to dark grey. The word "Expansion" is written in a bold, serif font across the middle of the triangle.

Expansion

A. Do you sometimes disagree with your parents? About what?

B. 友人たちと勉強会を作るとしたら、あなたは何を教えられますか。あなたの強みは何でしょう。

ボーディング・スクール（寄宿制学校／セント・アンドリュース・スクール）の伝統

映画『いまを生きる』はウェルトン・アカデミー校という寄宿制学校が舞台になっており、こうした学校は「ボーディング・スクール」と呼ばれています。映画のロケ地であるセント・アンドリュース・スクール (St. Andrew's School) も、米国デラウェア州にある定評あるボーディング・スクールであり、現在は共学となっていますが、もともとは男子校でした。

ボーディング・スクールの典型的な例として、イギリスのパブリック・スクールの伝統を挙げることができます。親元を離れて団体生活を送ることにより、学業だけではなく、規律やマナーなどを身につけることができます。また、深い人間関係を築き上げることにより、終生の友人を得ることができる環境にあることも最大の魅力の一つです。授業が終わってからも学習時間が設定されることもあり、学習を習慣づけられる一方で、自由時間が少ないという面もあります。

たとえば、1440年創設のイートン・カレッジなど、イギリスの伝統的なボーディング・スクールの卒業生の多くがケンブリッジ大学やオックスフォード大学といった名門大学に進んでいることから、エリート層のための教育機関という印象が強く、アメリカにおいても、この映画の舞台であるウェルトン・アカデミー校も含めて、上流階級の子女が通うための学校という側面が強い現実があります（しかし実際には、大学進学を主たる目的とするわけではないタイプのボーディング・スクールもあります）。イギリスのボーディング・スクールが公立学校を基盤に発展してきたのとは対照的に、アメリカのボーディング・スクールの特徴はすべてが私立学校であり、全米に約300校あると言われています。

その中でも特に歴史が長いボーディング・スクールのことを「ザ・テン・スクールズ」と総称し、主に東海岸に位置する学校で占められています。親子2代で大統領をつとめたブッシュ父子も、その中のフィリップス・アカデミー（1778年創設、マサチューセッツ州）の出身です（古くは同志社大学創設者の新島襄も通っていました）。あるいは、ハーバード大学出身でフェイスブックの創設者として知られるマーク・ザッカーバーグも、「ザ・テン・スクールズ」の一つであるフィリップス・エクセター・アカデミー（1781年創設、ニューハンプシャー州）の卒業生です。将来のアメリカ合衆国を牽引する人物を伝統的に輩出し続けていることから、人脈作りを目的として、アメリカ以外の国からの入学も多いようです。

hogwarts魔法魔術学校という7年生の全寮制ボーディング・スクールを舞台にしている『ハリー・ポッター』シリーズをはじめ、『寄宿舎——悲しみの天使』（1966、フランス）、『モリス』（1987、イギリス）、『1999年の夏休み』（1988、日本）、『乙女の祈り』（1994、ニュージーランド）、『コーラス』（2004、フランス）など、思春期特有の問題や友情を描いた傑作が数多く生み出されており、中でも『いまを生きる』はボーディング・スクールを描いた物語の代表的な作品に位置づけられています。